

アートギャラリー
四国八十八ヶ所へんろ小屋プロジェクト
— 遍路文化の継承、広がり願って —
歌 一洋

四国に八十八ヶ所の霊場札所を巡拝する遍路道が在る。
空海が開いたとされ、1200年余、お遍路さん、地元の人達によって脈々と今に受け継がれている。
「お接待」と「循環性」という祈りのカタチを体現した文化は世界でも稀である。
この四国全域1400kmの遍路道の89ヶ所に、歩きお遍路さんのための休憩、仮眠ができる「へんろ小屋」をボランティアで造っていくプロジェクト。
2001年から10数年をかける予定である。
小屋は地域の様々な人達と共に、つくる過程も大切にする。
また小屋の設計にはその地域の風土、伝統文化、建築文化、空海を思想を多少なりとも表現し、より良い風景を創出する。
小屋づくりによって、人と人、人と自然のふれ合いや支え合いの深まりを願っている。また四国の遍路文化伝承と広がりの一助になればと考える。次ページからの写真は2010年4月から2011年9月までに完成した3棟の小屋。

小屋造りのコンセプト

- ・小屋、人によってより良い風景を創出
- ・子供から年配者まで多くの人々の参加
- ・建築する土地の地域性を生かす
- ・地域の人々のボランティアによる
- ・地産地継

空間・デザイン

- ・人、自然とのコミュニケーションを重視した空間構成
- ・いい気が流れ、元気をもたらす空間構成
- ・物語性を構築
- ・光、風、水、土等との一体感を演出

空海

- ・思想を空間に置換
- ・空海ゆかりの物語をカタチに
- ・生誕の地（善通寺）、聖地（高野山）への意識

ヘンロ小屋40号 日和佐 かめ遍路

大ウシガメの産卵地からデザインはカメのイメージ。
甲羅がモチーフの屋根素材など全て地域の杉を使用。
歩きおへんろさん、一歩一歩ゆっくりと！



へんろ小屋41号 今治・日高

老人ホームの玄関横に設置。おへんろ、入居者、職員他のふれ合いの場に。10cm角の木材1本は人のメタファーで、木組は人組み。支え合いの精神を表す。



ヘンロ小屋42号 宇多津・蛭田池公園

この地域で祭りに使われる太鼓台のカタチを
小屋のデザインとして置換。斜めの柱は祭り
を支える人に見立て、構造的にも強い。
遍路文化の精神の支えあいを表す。



空海風の櫻美術館

四国八十八ヶ寺の仏像写真他を展示。
藍色の壁面に落ちる天窓からの光と融合し、
祈りに満ちた空間。四国の遍路道近く川島城
下に建つ。仏教思想の根本原理である曼荼羅
のイメージ。

